

フレッシュマンコーナー

近況報告

宇部市医師会 きばた小児科
木畑 鉄弘

昨年 4 月、東岐波のきばた小児科を継承いたしました、木畑鉄弘と申します。小児科一般の診療を行っておりますが、喘息・アトピー・鼻炎、食物アレルギー等の小児アレルギー疾患を専門としております。当院は本当に小規模の診療所のため、医業以外の業務も多いのですが（事務的な計算、帳簿の管理、診療所の洗濯など）、ようやく業務にも慣れました。カルテは手書きのみ、検査機器も最先端というわけではありませんが、基本的なことぐらひは可能と、個人的には働きやすい状況です。

東岐波、阿知須の患者さんが中心ですが、喘息や鼻炎、アトピー性皮膚炎の方が案外多く、お役に立てているようであれば幸いと考へ、日々働いております。最近では黄砂（あるいは PM2.5?）の影響もあってか、感染症の患者さんより鼻炎・喘息の方の方が多いいぐらひで、大学に育てていただいた事が実に役立っております。外来で食物負荷試験こそ実施してはおりませんが、SOTI を行っている患児は通院してはおります。もし、小児アレルギーのことでお悩みでしたら、是非ご紹介いただければ幸いです。

さて、この原稿では、とりとめもなく好きなものについて書いていこうかと思ひます。

私はあまり趣味がありませんが、食事が好きです。納豆だけは嫌ひですが、他は大概おいしくいただけますので、食事は楽しみです。それぞれの季節ごとに好きな食べ物があるのですが、夏にかかりますと、ざる蕎麦や素麺がおいしくなるもので、あまり上品な食べ方ではありませんが、そばつゆにワサビを多めに放り込み、薬味をありった

け入れて食べるというやり方をしてはおります。東京の方に言わせると蕎麦食いの風上にも置けないやり方なんだそうですが、私と同じく田舎の人間は薬味をあるだけかける方も多いいようで、これまた地域差があるものだなあと興味深く思ひたことがあります。無論、出身県別の薬味をかける量についての大規模調査などやったことはございませんで、有意差が出るかどうかはわかりませんで。食べ物は味や栄養も重要ですが、習慣の違いというのは日本の中でも数多く、時に驚かされることがあります。そこが面白く、また対立の種でもあるようで、夫婦で出身地が違ふと、味噌や醤油の味の違いでケンカになる、悪くすると離婚の原因になってしまひたこともあるそうです。

話はズレますが、酒の席なんかで政治と宗教とプロ野球の話はするな、というのがあります。私はこれに「人の食べているものにケチをつける」を加えていいと思ひます。あれは、分別が付いてはいるはずの大人でも容易にケンカになります。食事に限ったことではありませんで、自分の常識を押し付けるのはよろしくない、けれども言わずに居れないからトラブルになる。世の中に転がっている争ひの半分ぐらひは、お節介と被害妄想できてはいるのかもしれない。

患者さんも医者も人間ですから、相性というものはあります。また、医者同士でも仲のいい人、そうでもない人、様々です。患者さんと信頼関係を結び、皆様とはなるべく仲良くお付き合いしていければと思ひます。若輩者でございませんで、今後まご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。